

ことばの教室だより

令和2年6月
入間川東小学校
ことばの教室
Tel 04-2952-3118



ことばの教室って、どんなところ？

ことばの教室は、言葉や聞こえに関する一人一人の課題を改善・軽減し、学級でよりよい生活や学習ができるよう援助するところです。担任の先生方や保護者の方と協力して、児童のよりよい成長を図っていききたいと考えています。

(難聴・吃音グループ学習にて「難聴理解カルタ」の様子)

こんな子はいませんか？



てんてい、だっとうは、
たのちいよ。

<発音の誤り>

年齢に比べて幼い発音が残っていたり、聞きづらい癖のある発音がまじったりする。

えっ、えっ？
なんていったのかな。

<難聴>

聞き返しや聞き間違えが多い。言葉の数が少なかったり、発音が誤っていたりする。



<吃音>

言葉がなかなか出なかったり、はじめの音を繰り返したり、伸ばしたりする。



・・・はい、
げーげーんきです。

ご連絡ください

担任の先生が言葉や聞こえの課題に対して気づき、早期の対応をとることで良い効果を生むことができます。気になることがありましたら、ぜひご相談ください。また、保護者の方から、「ことばの教室」へ直接電話をいただく方法でも、相談を受け付けています。市教育委員会への「ことばの相談」申込みもできます。

ことばの教室通級児童の実態

(令和2年6月12日現在)

<障害種別・学年別人数>

主障害でカウントし、他の障害種と重複は(外数)

障害種別/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
構音(発音の誤り)	2	6	5	3	1	1	18
吃音	1	1	3	1	1	2	9
難聴	0	1	1	0	0	0	2
計	3	8	9	4	2	3	29

*令和元年度通級児童数は総計46名でした。

裏面もあります

マスクが難聴者のコミュニケーションの妨げになっています・・・

みなさんの学校や学級に、難聴のお子さんはいませんか？
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多くの人々がマスクを着用しています。
そのマスクが、難聴者のコミュニケーションの壁になっています。

聴覚に障害のあるお子さんの多くは、様々な情報をもとに会話を行っています。



- ①音
- ②唇の動き
- ③表情
- ④文脈からの推測

マスクをすることで、唇の動きや顔の表情が見えなくなり、伝わりにくくなります。
また、マスクによって音がこもり、聞こえにくくなってしまいます。
聞こえにくい様子は、一人一人違いますが、学校や学級にいるお子さんがマスクによって、困っていないか・・・、様子を見てあげてください。

難聴者のためにできる配慮の例

- ・話す時は、はっきりと
- ・大事なことは、板書・実物・掲示
- ・身振り、手振り
- ・静かな環境
- ・要点をまとめて、短い文で
- ・事前にプリントを配布するなどの、情報提供
- ・ノートテイク
- ・音声認識アプリの使用
- ・フェイスシールドの使用



学年にもよりますが、様々な配慮が考えられます。みなさんの知恵と優しさ、またユニバーサルデザインの視点で、難聴のお子さんのコミュニケーションや情報提供について考えていただければと思います。

ことばの教室だより

令和2年 10月
入間川東小学校
ことばの教室

「ことばやきこえ」のことで、
気にかかっているお子さんはいませんか？



たとえば・・・ サ行が言えない。

- お子さんは、何歳ですか？
- 耳の聞こえは、問題ありませんか？
- 食べたり、飲んだり、吸ったりすることは、上手にできますか？
- 発音以外の面での発達はどうでしょうか？
- サ行はどんな音になっていますか？

個人差はありますが、サ行音が完成するのは、5～6歳と言われています。通常は耳で聞いて正しい発音を覚えますが、声には反応していても、高音部の音が聞こえにくいといつまでも赤ちゃん言葉が残ることがあります。また、口の形や動きに問題があると、発音にも影響します。さらに、言語発達、知的な発達、運動面の発達等とのバランスはどうでしょうか？赤ちゃん言葉と言われる幼い発音は、発達に伴って正しい音になっていきますが、ひずんだ癖のある音になっていると、自然に改善しにくいと言われています。

たとえば・・・「あ・あ・あのあのね、・・・」など、ことばを繰り返す。

- いつ頃から気になりますか？
- 言葉を繰り返した時、お子さん本人はどのような様子ですか
- 言葉を繰り返した時、周りの人はどのようにしていますか？

言語を獲得している最中の子どもが言葉につまることは、発達途中とも考えられます。しかし、本人や周りが気になるくらい言葉の流暢性がない時は、対応の仕方について、専門機関に相談することも一つです。



一度、ことばの教室においでになって、ご相談しませんか。

*発音の誤りの他、言葉がつかえる、聞こえが悪いのではないかなどの言葉や聞こえについての、ご心配をお聞きし、お子さんの様子を見て、必要に応じた検査をします。お電話だけの相談もできます。今後の対応について、よりよい手だてを一緒に考えましょう。



「ことばの教室プレイルーム」
リラックスしてことばを育む工夫をします

就学時健康診断の時に就学児を対象に「ことばの相談についてのお知らせ」が教育委員会より配布されました。保護者の方から直接電話の申し込みを受けて相談日を設定します。就学にあたって聞こえや言葉のご心配がある場合は、この機会をご活用ください。

ことばの相談の申し込み 入間川東小学校 ことばの教室 TEL 2952-3118
FAX 2952-3119

「聞こえているからだいじょうぶ。」が落とし穴！？

～正常と難聴の境界・軽度難聴の子どもたち～

「おや？ちょっとこの子、お話しがとりにくいな？」というお子さんはいませんか？もしかしたら、聞こえのせいかもしれません。



「ちょっと聞こえが悪いだけ・・・」というお子さんは、身近な人との会話ではさほど不自由がありません。そのため、コミュニケーション能力や言語発達の遅れに気づかれることが遅くなりがちです。特に年齢の小さいお子さんは、聞こえが知能の発達や言語の発達に密接に関わっています。集団生活が始まって適応上の問題が出てきたり、小学校入学後に学習の遅れが出てきたりしてから、問題視されることが多いようです。

「中耳炎になっただけ・・・」と軽く考えず、その後の聞こえの反応はどうか？小さな音の聞こえはどうか？など、様子を気にしてみてください。

ことばの教室だより

令和3年 2月 入間川東小学校 ことばの教室



日頃「ことばの教室」に対してご支援、ご協力いただきありがとうございます。

暦の上では節分、立春を迎えましたが、まだまだ寒い日もあり、春の訪れが待ち遠しいです。新型コロナウイルス感染症対策をしながらも指導終了まで元気に通級してほしいと思います。

さて、今年度は、年度途中の指導開始や指導終了も含め、計38名の児童が通級しました。一人一人が自分の課題の改善・軽減に向けて頑張りました。

ことばの教室 通級児童の実態

<令和3年2月現在>

<課題別/学年別人数>

() 内は重複している場合

課題/学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
発音の誤り	6	6 (1)	7	3	1	1	24 (1)
吃音	1	1	3	1	1	1	8
難聴		2	1				3
計	7	9 (1)	11	4	2	2	35 (1)

※令和2年度 通級児童数総計38名

☆☆☆本年度の活動より☆☆☆

【吃音理解啓発授業】

8月に入間野小の1年生、



12月には入間川東小の2年生に向けて吃音理解啓発授業を行いました。スライドを使いながら、吃音の症状や吃音のある人の割合を知ったり、吃音のある子の気持ちを考えたりしました。また、吃音の子の気持ちを知って、自分たちにできることを考えました。「話を最後まで聞くことが一番大切なんだなと思いました。」「ふつうのことばとして聞きたいです。」「話に耳をかたむけて、しっかり聞いて、じょうずに向き合ったいです。」等、授業の振り返りを行うことができ、良い学びができたのではないかと思います。

ことばの相談

来年度就学するお子さんや在学中のお子さんなど、年間を通して「ことばの相談」を随時受けています。

言葉や聞こえのことで気になるお子さんがいましたら、「ことばの教室」に相談してください。お子さんの状態について一緒に経過をみたり、「ことばの教室」での指導についての説明をしたりします。

【お楽しみ会】

12月21日(月) ことばの教室



に通級している児童全員を対象に「リラクゼーション」を体験しました。専門の先生を招いて、親子と一緒にハンドマッサージをしたり、バスボムやスワッグを作ったりしました。参加した方からは、「バスボム作りもアロママッサージも子供と一緒に楽しめてすごく素敵な時間になりました。」「ことばの教室に通う仲間の姿を見ることができたこともよかったです。」「アロマに関するお話も、講師の方が細かく説明してくださり、とても興味深かったです。」などの感想をいただきました。親子一緒のリラックスした楽しいひとときとなったようでした。



狭山市立入間川東小学校

Tel 2952-3118

Fax 2952-3119

ことばの教室担当

宮岡 林